

除雪機械の維持管理に向けた故障解析について

2019年11月07日～2019年11月08日

第33回日本道路会議

伊藤 義和（寒地機械技術チーム）／植野 英睦（寒地機械技術チーム）／
齊藤 勉（寒地機械技術チーム）

積雪寒冷地における冬期の円滑な道路交通の確保は、地域住民の生活にとって必要不可欠であり、確実な道路除雪体制が求められている。近年、購入・整備費用の逼迫により、除雪機械の更新が先送りされ老朽化した機械が増加していることから、重大故障の発生に伴う除雪作業停止日数は年々増加しており、道路除雪体制への影響が懸念される。そのため、限られた予算の中、効果的かつ効率的に除雪機械の維持管理を行い、重大故障に伴う除雪作業停止日数を削減する必要がある。その維持管理の指標となる除雪機械の劣化に対する定量的な評価に向け、道路管理者保有の除雪機械の故障データを用いて、ワイブル型累積ハザード解析による故障解析を行うとともに、信頼度を算出した。本報は、その1事例として、ロータリ除雪車（写真-1）の解析結果について報告する。

本論文閲覧ご希望の方は、当該学会等にお問い合わせください。